

# 個人質問

2月定例市議会では、二十六人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

## 一般・行財政



### 新行財政改革プラン

**問** 平成16年度から19年度までを計画期間とする本市新行財政改革プランの特徴は、取り組みの状況は。

**答** 市立保育園や学校給食への民間活力の導入、電話交換業務等の在り方の見直しなど、制度的・構造的な見直しに重点を置いている。16年度は、県市町村職員共済組合への加入や職員駐車場の有料化等が実現した。17年度は、学校プールの運営方法の見直しや、システム効率化推進特命班を設置し内部管理業務の集約に取り組む予定だ。

### 合併地区の町名表示

簡素化を

**問** 合併地区の町名表示から「御津」、「灘崎町」を外し、簡素な町名に変更する考えは。

**答** 合併協議会で決定されたことに加え、合併特例区の設置期間は特例区の名称を冠することから、五年間は外すことができないうが、その後については議論していくことも可能だ。また、政令市移行時にも議論の機会となり得ると考える。

### デジタルミュージアムで

桃太郎展覧会を開催

**問** デジタルミュージアムを桃太郎伝説研究の拠点とする考えは。

**答** 重要な活動の一つとして、研究・資料センター的役割を担いたい。開館記念展で「岡山と桃太郎」をテーマに、日本桃太郎の会長である小久保桃江氏のコレクションをはじめ民俗学や絵本、グッズなど、多面的に桃太郎をとらえた全国初の展覧会を開催する予定であり、一部

のものは常設的に展示したい。

### 退職職員の

再雇用の見直しを

**問** 本市の退職職員を嘱託員として再雇用することに市民から厳しい指摘があるが、民間人

## 生活・まちづくり



### インド・ブーネ市との

交流拡大を

**問** アジア地域の安定と平和を図るため、IT産業を中心に急成長するインドとの交流を拡大する考えは。

**答** 県のリサーチパークにインドのIT関連企業が進出すると聞いている。本市の関係では、平成16年に実施した国際サマーキャンプに同国ブーネ市の子どもの参加があり、17年度も招待するとともに、本市からも派遣したい。次代を担う子どもとの交流を中心に考え、その一環として、ブーネ市の教師を英語

を登用する考えは、嘱託職員の必要性は。

**答** 約七百人のうち、再雇用は百人程度だ。原則として民間のノウハウ活用の観点から特定の学識や技能・経験を有する人材を公募で採用している。正規職員以外でも効果的・効果的に業務遂行が可能な分野に配置し、それぞれの知識や経験を生かすことで、市民サービスの向上につながっていると考える。

### 青色回転灯自動車

活用に向け支援

**問** 平成16年12月から地域の自主防犯パトロールの自動車に青色回転灯の装備が認められることとなったが、本市でも活用を奨励し積極的にPRしては。

**答** 市町村長等から防犯活動の委嘱を受けた個人やその構成団体、法人格を有する町内会等が警察から証明を受ければ装備が認められる。本市としても、市民協働の観点から拡大すべき分野と認識しており、PRに加え、制度活用の前提となる委嘱や法人格の認可等を進めていきたい。

### 地域の公民館を

安全安心の拠点に

**問** 公民館等を拠点に、地域の各種組織が協力して行う防災・防犯の活動に対し国が助成する地域安心安全ステーション整備モデル事業に応募しては。

**答** 防災と防犯の一体化により双方の一層充実した活動が可能になると考え応募したところだ。事業実施に当たり、資機材整備と併せ、地域活動としての防災・防犯活動の在り方等ソフト面の充実が必要であり、今後それらの考え方について整理したい。



次代を生きる子ども達の交流を  
(子ども国際サマーキャンプ2004)